

# 全国学力・学習状況調査から見られる指導改善のポイント

## 中学校 国語

### 全国学力・学習状況調査の結果から

◆文脈に即して漢字を正しく書くこと、語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことについては、一部に課題

例) A⑧三 適切な語句を選択する

ア 今年の夏の暑さには1平行 2平衡 3並行 4閉口した。  
イ 友達に将来の(1抱負 2初心 3意志 4感想)を話す。

1から4までのうち、どれが最も適切ですか。

結果は次のようでした。

正答率 ア 45.2% イ 57.6%

例) A⑧三 適切な語句を選択する **→ポイント1へ**

**設問** ア 今年の夏の暑さには(1平行 2平衡 3並行 4閉口)した。  
イ 友達に将来の(1抱負 2初心 3意志 4感想)を話す。  
1から4までのうち、どれが最も適切ですか。

**正答** ア「4閉口」、イ「1抱負」

**分析結果と課題**

- アは「閉口する」という表現になじみがなかったり、「平衡」の熟語の意味を理解していなかったりするものと考えられます。
- イは「抱負」の意味を正しく理解しておらず、「将来」と結び付けて**文脈の中で適切に使う**ことができなかったものと考えられます。

◆文の接続に注意し、伝えたい事柄を明確にして書くことに課題

例) A③二 出された意見を整理して、決定の理由を適切に書く **→ポイント2へ**

「読むゾウくん」について、

キャラクター名の響きが読書を勧めている感じがしてよいと、意見が支持されました。

デザインが面白いし、キャラクター名の言葉の響きが読書を勧めている感じがしてよい。

耳やしっぽのデザインが面白くてよい。

デザインは面白いが、身近にいる動物の方がよい。

【選考会で出された意見】

結果は次のようでした。

正答率 県 54.8%

**正答例** 「身近にいる動物の方がよいという意見が出ましたが」

生徒の解答類型別の反応率を見てみると、……

解答類型	反応率(%)	正答
条件1、2を満たして解答しているもの	54.8	◎
条件1を満たし、条件2を満たさずに解答しているもの	1.4	
条件2を満たし、条件1を満たさずに解答しているもの	5.6	
上記以外の解答	32.8	
無解答	5.4	

**分析結果と課題**

- 伝えたい事柄が明確になるように**情報を適切に取り上げて書く**ことに課題があると考えられます。
- 上記以外の解答の誤答例として「キャラクター名の言葉の響きが読書を勧めているもの(22字)」等があります。【選考会で出された意見】は踏まえているものの、「身近にいる動物の方がよい」という意見を取り上げて書くことができていません。また、後に続く部分とのつながりを考えて書くことができていません。

## 指導改善のポイント

**ポイント1** 多様な言語活動を通して、文脈の中での意味をとらえる授業を行いましょう。

- なじみの薄い語句や使用頻度の低いと思われる漢字について**辞書を使って**積極的に調べる機会を意図的に設けましょう。
- 意図的に他の語句に置き換えて考えるなどの学習を取り入れて、語句と語句の**微妙な違い**に気付かせる指導をしましょう。
- 過去の問題を使って実態把握をしたり、授業に活用したりしましょう。

**その1**

もどかしい

自分の気持ちをうまく伝えられずもどかしい。時間のたつのもどかしい。のどが渴いてもどかしい。

「のどが渴いてもどかしい」なんて言うかな?

**学習の流れ**

- 1 教科書に出てくる難しい語句を使って短文をつくる。
- 2 作った短文が適切であるかを検討する。
- 3 辞書で意味や用例などを確認する。

**その2**

適切な語句を入れよう

自分で言うのも( )が、成績はよかった。

- ・おこがましい 7人
- ・いちじるしい 3人
- ・もどかしい
- ・はなはだしい

「いちじるしい」は、はっきりしているという意味じゃない?

**学習の流れ**

- 1 ( )の中に選択肢の中から最も適切な語句を入れる。
- 2 その語句を選んだ理由を説明する。
- 3 辞書で意味や用例などを確認する。

**ポイント2** 言語活動の特徴をとらえて、相手や目的、意図を明確に設定した上で授業を行いましょう。

【記事の下書き】

キャラクター「読むゾウくん」に決定

読書を推進するためのキャラクターが、「読むゾウくん」に決まりました。

選考会では「本だなん」との決戦になりました。

「本だなん」については、本の印象が強いの、楽しそうな雰囲気が出ていてよいという意見が出ましたが、読書を勧めている感じがしないという指摘がありました。

「読むゾウくん」については、デザインが面白いし、キャラクター名の言葉の響きが読書を勧めている感じがしてよいという意見が支持されました。

これらの意見から、読書を推進していくには「読むゾウくん」がふさわしいということになりました。

言語活動の特徴をとらえるとは…

- 相手**や**目的**に応じて、伝えるべき内容を簡潔に分かりやすく書く必要があります。

言語活動例：図書だよりを書く

- 相手**(読み手)は、主に書き手と同世代の生徒である。
- 目的**は、キャラクターの決定を、読み手に伝えることである。
- できるだけ多くの人に興味をもってもらおう、表現の工夫をする必要がある。

他にも、平成25年度全国学力・学習状況調査では、以下のような言語活動が取り上げられています。

- 日常生活の中的话题について対話や討論などを行うこと…A①
- 詩歌や物語などを読み、内容や表現の仕方について感想を交流すること…A② B②
- 行事等の案内や報告をする文章を書くこと…A③
- 文章と図表などとの関連を考えながら、説明や記録の文章を読むこと…A④ ⑤ B①
- 図表などを用いた説明や記録の文章を書くこと…A⑦
- 多様な考えができる事柄について、立場を決めて意見を述べる文章を書くこと…B③

■指導案に**言語活動の特徴や位置付け方**について具体的に記述したり、研究会での話題にしたりしましょう。